

a 学校教育目標	夢や目標に向かって、ともに伸びる子供の育成	b 経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】 自分を愛し、夢を語る児童の実現 【ビジョン】 児童、教職員、保護者が「夢や目標に向かって、自ら伸びる ともに伸びる」という教育風土がある学校 <めざす学校像>「ともに伸びる」という教育風土のある学校 <めざす子ども像>「規律あるかわり合いを通して、自ら考えともに伸びようとする子ども」 <めざす教職員像>「自分の姿を鏡とし、かわりきった結果としての児童の姿に自信と誇りが持てる教師」
----------	-----------------------	----------------------	---

c 中期経営目標	d 短期目標	e 目標達成のための具体的方策(大枠)	f 評価項目	指標	自己評価				改善方策	学校関係者評価								
					参考	目標値	10月	2月		i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	n 改善方策	l 評価				
					現在の状況 (昨年度3学期末・4月中旬)		h 達成値	h 達成値						イ	ロ	ハ		
学力向上	【授業改善による学力定着】 教師が、その学年で身に付けるべき学力を確実に定着させる	<ul style="list-style-type: none"> ・45分間の授業で、基礎基本の力を身に付けるための授業改善【研究部】 ・「めあて」が児童の主体性を引き出すものであり、「めあて」と「まとめ」がつながりのある授業改善【研究部】 ・教科書の文章を「読む」ことができる授業改善【研究部】 ・教材文等のことばに根拠を求める授業改善【研究部】 ・「聞く」ことを大切に、ねらいを達成するためのペアやグループによる学習のある授業改善【研究部】 ・通過率40%未満の児童への具体的な対応がある授業改善【研究部】 ・学習規律の徹底し、親和性のある学習集団づくり【研究部】【生徒指導・特別支援教育部】 ・ねらいを達成するために、ICT機器等を活用した授業改善【研究部】 	単元末テスト(国語、算数、社会、理科)の平均値が指標に示す点を超える学級数 【評価時期】(1学期末・2学期末)	平均値 1・2年生(90点) 3・4年生(85点) 5・6年生(80点)	国語	8/12学級	12/12学級											
					算数	7/12学級	12/12学級											
豊かな心と親和性の高い集団	【規範意識の育成】 教師が、児童に所属意識を持たせ、円滑な集団生活の基盤となる(規範意識・ルール・マナー等)を身に付けさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・生活のきまり、学習規律チェック表に基づく積極的な生徒指導を日常的に実施【生徒指導・特別支援教育部】 	QUAアンケートにおける学級生活満足群 【評価時期】(5月下旬・11月下旬)	学級生活満足群に位置づく児童の割合75%以上の学級数	71.0%	12/12学級												
					【共感的な人間関係づくり】 教師が児童に、他者とかかわり合う場面を与え、その中で、自己肯定感を高めさせるとともに、相手を大切にすることを態度を身に付けさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・「聞く」ことを大切に授業改善【研究部】【生徒指導・特別支援教育部】 ・内面に迫る道徳科の授業改善【研究部】 重点項目 B「思いやり」(B-6・B-7) C「よりよい学校生活・集団生活の充実」(C-14・C-15・C-16) ・異学年、異年齢交流の実施【教務部 生徒指導・特別支援教育部】 ・ねらいをもった児童同士の交流の場がある学級活動【生徒指導・特別支援教育部】 ・1校1貢献活動の実施【教務部】 	児童質問紙によるアンケート調査 (あ)「学校のきまりやルールを守って生活をしている」 (い)「自分にはよいところがある」 (う)「自分のよさを周りの人に認められていると思う」 (え)「将来の夢や目標を持っています」 (お)「努力すれば、自分もたいていのことは出来ると思います」 (か)「地域のことが好きです」 【評価時期】(1学期末・2学期末)	児童質問紙肯定的評価の割合 (あ) 95.1% 95% (い) 91.3% 90% (う) 83.3% 85% (え) 93.4% 95% (お) 95.5% 95% (か) 92.0% 90%										
健やかな体	【授業改善による体力の向上】【感染症防止】 教師が、児童に確かな目標を持たせ、生涯にわたって健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成する	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく、運動量がある体育科の授業改善【健康安全部】 ・自分の目標に向かって挑戦することができる体育科等の授業改善【健康安全部】 ・児童同士が「見る」ことを大切に体育科の授業改善【健康安全部】 ・感染症を防ぐための取組の実施【健康安全部】 	児童質問紙よりアンケートによる調査 「体育の授業は楽しい」 「感染症防止のためにマスク着用、手洗い、3密を防ぐことをしている」 【評価時期】(1学期末・2学期末)	肯定的評価の割合 「体育は楽しい」95.8% 「体育の授業」95% (参考)感染症についてはデータはない。 「感染症」100%														
働き方改革	教育課題に適切に対応する学校体制を再構築するとともに、学校行事及び総合的な学習の時間の内容を精選することを通して、児童に向き合う時間数を確保するとともに、職員の健康を維持する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課題に適切に対応する学校体制を再構築するとともに、行事等の精選をし、児童に向き合う時間を確保する【教務部 総務部】 ・行事等の内容を精選し、行事に係る練習時間数を減少する。 ・総合的な学習の時間の内容を精選する。 ・各部が担当する行事を精選する。 ・関係機関・団体と連携する取組について、学校が担う業務を軽減する。 ・定時退校を実現する。 ・見通しを持った業務を行う。 	○市の方針「勤務時間上限の目安時間」『上限の目安時間及び特例的な扱い』に記載されている内容を達成する。 上限目安時間・45時間/月を超えない。・360時間/年を超えない。 特例的な扱い・720時間/年を超えない。・45時間/月を超える月は、1年間に6月まで。・連続する複数月のそれぞれの期間について、1カ月当たりの平均が80時間を超えない。 【評価時期】(9月末・1月末)	勤務時間外の在校時間 全教職員年間360時間以内の割合 58% 100%														

【自己評価 評価】
A:100≦(目標達成)
C:60≦(もう少し)≦80
B:80≦(ほぼ達成)≦100
D:(できていない)≦60

イ:自己評価は適正である。
ロ:自己評価は適正でない。
ハ:分からない。